

教科の指導目標	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	①中間テスト、期末テスト、単元テスト 漢字、語句、文法、伝統的な言語事項に関する部分 ②言語活動の知識、技能に関する部分 ③漢字・文法小テスト、古文の暗唱テスト等 以上の項目の達成率でA～Cを判断する。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	①中間テスト、期末テスト、単元テスト 読解を中心とする思考力、判断力、表現力に関する部分 ②言語活動の思考力、判断力、表現力に関する部分 例：各作文（意見文、感想文、鑑賞文、批評文など） 各発表（スピーチ、討論、プレゼンテーションなど） 各作品（本のポップ、帯、書き初めなど） 以上の項目の達成率でA～Cを判断する。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	①『知識・技能』および『思考力・判断力・表現力』の達成度 各種テストから達成度を確認する。 ②授業中の主体性、集団での情報共有の結果など、各種学習の振り返り 例：目標を達成するために、適切な情報を収集して表現に役立てたり、他者とアドバイスをし合って学習課題について考えを深めたり、授業内の行動や学習過程が効果的に結果に表れているか。ノートやワークシートなどからも評価を行う。 以上の項目の達成率でA～Cを判断する。

教科の指導目標	
生徒自身が課題を発見し、主体的に課題解決を行うことで思考力・判断力・表現力を高めることを促す指導。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
授業態度・定期テスト・ワーク	・授業で学習した基礎・基本の語句などを理解している。 ・ワークなどの学習内容を理解している。 ・定期テストで、重要語句などを答える問題ができる。 ・定期テストの技能に関する問題に答えることができる。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
レポート（記述テスト）・定期テスト・授業内容のまとめ作成（ノート）	・社会的な事象について筋道を立てて考えることができる。 ・考えたことをノートに適切に表現することができる。 ・定期テストの思考・判断・表現についての問題に答えることができる。 ・レポートの課題に対して、自分の考えをまとめることができる。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
授業態度・ノート・ワーク・レポート・定期テストなどの総合力	・学習課題に積極的に取り組み、そこで見られる課題を主体的に考えようとしている。 ・ノートやレポートに自分の考えを書くことができる。 ・社会の学習内容に対して、粘り強く主体的に取り組むことができる。 ・学習内容をほとんど理解し、課題に取り組むことができる。

教科の指導目標	
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 特に「思考力・判断力・表現力を高める数学的活動の工夫」を目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	○定期テスト ○単元テスト ○ワーク など 以上の項目の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	○定期テスト ○単元テスト ○課題レポート など 以上の項目の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	○ノート ○定期テスト（調整力） ○課題レポート など 以上の項目の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）

教科の指導目標	
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。	○定期テスト（知識・技能問題）の得点 ○小テスト（知識・技能問題）の得点 ○レポート課題の内容 ※2 ○技能テスト ※1 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する） ※1 技能テストは、単元に応じて都度実施する。 <例>2年物理分野……回路作成テスト ※2 レポート課題は、単元に応じて都度実施する。 <例>実験の考察レポートなど
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	○定期テスト（思考・判断・表現問題）の得点 ○小テスト（思考・判断・表現問題）の得点 ○レポート課題の内容 ※2 ○授業の取り組み（発表・発言内容等） 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する） ※2 レポート課題は、単元に応じて都度実施する。 <例>実験の考察レポートなど
学びに向かう力等	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○定期テスト ○小テスト ○レポート課題の内容 ※2 ○提出物の内容（ワーク、授業ノート） ○生徒による自己評価や相互評価 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する） ※2 レポート課題は、単元に応じて都度実施する。 <例>実験の考察レポートなど

教科の指導目標	
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	(知識) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ○ワークシート ○聴取質問(放送テスト) ○小テスト (技能) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 ○実技テスト ○中間発表・演奏発表 ○創作の作品 ○作品創作テスト 〈具体例〉 ・曲にふさわしい発声や正しい奏法、音程、リズムで演奏表現している。 ・授業で学習した基礎的な音楽的知識や技能を身に付け、その知識を生かして音楽をつくっている。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 〈具体例〉 ・歌唱や器楽の活動において、楽曲から音楽的な要素に根拠をもち、自分なりに表現を工夫している。 ・音楽の特徴を捉え、自分なりに曲の良さや価値を感じ取っている。(鑑賞) ・音楽用語を正しく用いて鑑賞文や批評文を書いている。 ○ワークシート ○課題学習 ○レポート ○批評文 ○小テスト ○聴取問題
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 〈具体例〉 ・音楽によく耳を傾け、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・表現の工夫や鑑賞での気付き、授業内での学びや感想について、楽譜やワークシート等に自分の考えや友達の考えを記述するなどして、理解を深めようと努力している。 ・積極的に発言、表現をしている。(自分の考えを発表する、歌う、演奏する、リーダーとして助言するなど) ○授業中の発言や観察 ○ワークシート ○ノートの記述

教科の指導目標	
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	使用する材料や用具の性質や効果を理解し、作品の構想に合わせて適切に使用し作品制作をしたり、感じ取ったりすることができる。 造形的な視点で課題を理解し、表現方法を工夫することができる。 ○課題に取り組む姿勢（資料収集・材料や用具の扱い方、表現の工夫など） ○アイデアスケッチやワークシート ○作品の完成度（構図や色の工夫・美しさ・発表内容等） 〈例〉制作する意図に応じて使用する道具や材料を適切に判断し制作することができる。 〈例〉絵の具の彩色の場面では混色や重色、筆のタッチ、水分量の調整などを工夫し自分のアイデアを意図に応じて表現することができる。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	参考とする資料の鑑賞や材料を集めたりアイデアスケッチをしたりしながら、自ら主題を生み出し表現方法を模索し造形活動に生かすことができる。 ○アイデアスケッチやワークシート ○作品（作品紹介シート、発表等を含む） ○鑑賞シート ○制作過程（作品をよりよくしようと試みる姿勢） 〈例〉資料を参考にしたり、アイデアスケッチやワークシート等を活用したりして、作品の構想を練ることができる。 〈例〉作品の良さを発見し、文章や言葉で伝えたり伝え合うことができる。
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	創造的な活動や鑑賞活動を通して、美術の創造活動の喜びや楽しさを感じることができる。 よりよい作品にしようと探究心をもって根気強く制作することができる。 ○授業態度（準備・片付け・発言・資料、計画性） ○作品やアイデアスケッチ、ワークシート ○制作や鑑賞に対する姿勢。 〈例〉よりよい作品にしようと、粘り強く制作をする。 〈例〉鑑賞活動に積極的に取り組む。

教科の指導目標	
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。	・運動の学び方や安全な行い方、スポーツの意義についての考え方を理解している。 ・運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。 (1) 授業中の技能、発問応答 (2) 単元テスト (3) 学習カードの記述内容 (4) 単元レポートの記述内容
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	・自己の課題や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫して自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (1) 授業中の発言や仲間への助言 (2) 学習カードの記述内容 (3) 単元レポートの記述内容
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	・仲間と協力する姿勢をもち、学習に積極的に取り組むことができている。 ・健康、安全に留意し、学習に自主的に取り組もうとしている。 (1) 授業の取り組み (2) 安全面への配慮の様子 (3) 準備・片付け・声かけなど自ら率先して行動する様子

教科の指導目標	
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	・学期末テスト ・作品の完成度 ・ワークシート、ワーク等の記述内容および提出状況 ・工具・機械等の使い方 ・製作活動における技能
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	・学期末テスト ・製作活動への取り組み ・作品の完成度 ・ワークシート、ワーク等の記述内容
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	・学期末テスト ・製作活動への取り組み ・ワークシート、ワーク等の記述内容

教科の指導目標	
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
日常生活に必要な技術や知識について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	○期末テスト ○単元テスト ○製作・技能テスト 1年：トートバッグの製作・ミシンテスト 2年：きゅうりとりんごの切り方テスト 3年：契約解除通知の書き方・絵本の読み聞かせ ○ワークシートの記述、レポートの内容など授業への取組 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
日常生活から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○ワークシートの記述 ○課題レポートの内容 ○stepupシート 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
日常生活をより良くしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	○3分前学習の取り組み ○ノート作り ○課題レポート ○単元のまとめ（stepupシート） 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）

教科の指導目標	
学んだ英語を使い、言語活動の場において様々な方法で自らコミュニケーションを楽しみ、表現できるようにする。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
言語材料を用いて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識、技能を身につけるようにする。	定期テスト 単元テスト リスニング小テスト パフォーマンステスト 単語テスト ワーク ECC
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
コミュニケーションを行う目的や場面状況に応じて、日常的な話題や社会的な課題について表現する力を養う。	定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	定期テスト 単元テスト パフォーマンステスト